



# 救命講習を受講しませんか？

## 救命講習ってなに？

救命講習とは、突然の病気で心臓がとまって倒れた人や、大ケガをして大出血をしている人を見つけた時、救急車が到着するまで、その人の命をつなぎとめるための応急手当の方法を身につけてもらう講習です。

病気やケガで心臓が止まると、約4分で脳の細胞が死んでしまうといわれます。すぐに119番をかけて救急車を呼んでも、救急車が到着するまで平均約6分かかります。そのためすぐに心肺蘇生法などの応急手当をはじめなければ命を救うことがむずかしくなります。命を救うためには・・・

### 早い通報！

119番通報

### 早い心肺蘇生法！

みなさんの  
心肺蘇生法

### 早い除細動！

みなさんが行う  
電気ショック

### 早い医療処置！

救急隊の処置  
病院での治療

が必要です。この一連の流れを『救命の連鎖』といい、この方法を学んでいただくのが救命講習会なのです。

### 除細動とは・・・

いわゆる電気ショックのことです。突然の心臓停止のときに、すばやく電気ショックをかけると心臓は正常にもどる場合があります。この電気ショックを行う機械を『AED・自動体外式除細動器』といいます。

今まではお医者さんや救急救命士しか除細動が出来ませんでしたが、一定の基準をみたした救命講習会を受講すれば、みなさんも使えるようになります。是非救命講習会で学んでみてください。



## 救命講習会の種類は？

救命講習会には普通救命講習と上級救命講習があります。

さらに、普通救命講習会には普通救命講習 と普通救命講習 の種類があります。

普通救命講習 は3時間のプログラムで応急手当の必要性・心肺蘇生法(成人)・AED(自動体外式除細動器)使用方法・止血法を学んでもらいます。

普通救命講習 は4時間の講習となっています。普通救命講習 と内容は同じですが、最後に心肺蘇生法に関する筆記と実技のテストを行います。

上級救命講習とは、仕事場が病院や介護施設など、一般の人よりも心臓が止まってしまった人に出くわす可能性が高い人を対象に行う講習です。

上級救命講習会は、8時間のプログラムで応急手当の重要性・心肺蘇生法(成人、小児、乳児、新生児)・AED(自動体外式除細動器)使用方法・止血法・ケガ人の管理方法・外傷の手当・搬送法の内容となっており、最後に心肺蘇生法に関する筆記と実技の試験を行います。さらに、2年から3年間隔での定期的な再講習を行うことになっています。

救命講習会で学ぶ『救命の連鎖』をスムーズに行うことこそが、命を救う第一歩なのです。

いざという時のため、是非救命講習を受講してください。

救命講習に関するお問い合わせは、各消防署 救急係 までご連絡ください。